

**2018年度 日本地理教育学会大会第68回大会案内(第3報)**  
**(大阪教育大学天王寺キャンパス)**

●大会案内

会場：大阪教育大学天王寺キャンパス西館

大阪市天王寺区南河堀町4-88 (会場の住所)

交通：JR天王寺駅、地下鉄天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅下車、徒歩約10分。JR寺田町駅下車、徒歩5分。

アクセス案内・キャンパスマップURL：[https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus\\_map.html](https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus_map.html)

日程：2018年8月4日(土)・8月5日(日)

8月4日(土)：

受付開始：9:00

午前 一般発表(10:20~12:00, 第1~第3会場)

昼休み 12:00~13:00 評議員会(12:00~12:50, 第1会場)

午後 会長講演(13:00~13:45, 第2会場)

シンポジウム【公開】(14:00~16:50, 第2会場)

テーマ「必履修時代の地理教育の連続性を考える」

総会(17:00~17:50, 第2会場)

懇親会<場所：学内食堂> (18:30~)

8月5日(日)：

受付開始：9:00

午前 一般発表(09:40~12:00, 第1~第3会場)

午後 研究グループ会合(オープン参加可) (13:00~13:50, 第1会場※)

※12:00~13:00の時間は第1会場にて編集委員会がありますので、参加をご希望される方は編集委員会の終了後にお入りください。

費用：大会参加費：2,000円(要旨集代500円含む) 懇親会費：5,000円

※大会参加費等は会員・非会員ともに同額です。【公開】部分は無料です。

大会実行委員会：

委員長：山田周二(大阪教育大) [syamada@cc.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:syamada@cc.osaka-kyoiku.ac.jp)

委員：水野恵司(同上)

共催：大阪教育大学地理学会

問い合わせ先(大会全般)：日本地理教育学会事務局(火・木) [newgeo@u-gakugei.ac.jp](mailto:newgeo@u-gakugei.ac.jp)

●会長講演 8月4日13:00 第2会場

竹内裕一(千葉大)：

「地理教育における地域学習の位置—子どもたちの地域学習体験からの逆照射—」

●シンポジウム「必履修時代の地理教育の連続性を考える」【公開】 8月4日14:00 第2会場

趣意：

喜ばしいことに、近い将来、必履修として高校「地理総合」が、さらに選択「地理探究」が誕生する。加えて2020年度より、小学校で初めて3年次から『教科用図書 地図』が配布され、4年に防災単元が新設される。中学校では「位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付き」に着目し見方・考え方を伸ばす地理教育の役割が一層明確となった。歴史や公民分野とも関係づけ児童生徒の「主体的に社会の形成に参画しようとする態度」や比較・関連づけて多面的・多角的に考察・表現する

力の一翼を担う責任も地理教育にある。一方で、小中高の各段階において資質・能力の育成が重複・欠落したり、扱う教材内容の連続性を欠いたりしてしまっただけでは必修時代の期待に応えることができない。本シンポジウムにおいては、小・中・高校の各段階において「地理教育の連続性」に焦点を当て、各校種においてどのような水準の教材内容を扱い、地理教育固有の資質・能力を培う必要があるのか、具体的な実践を元に参加者と論議を深めていきたい。

オーガナイザー：寺本 潔（玉川大）・三橋浩志（文部科学省）

シンポジスト：

S01 池田花笑子（大阪市立南小）：未来に対する当事者意識を育むESD地域学習—2050年ミナミのまちづくり計画—

S02 井寄芳春（大阪市立横堤中）：地理的技能を高める指導と評価のあり方—身近な地域の調査活動を通して—

S03 泉 貴久（専修大学松戸高）：高校生に相応しい地理教育における資質・能力とは何か？—日々の授業実践を通して考える—

コメンテーター：吉水裕也（兵庫教育大）・吉田和義（創価大）

## ●一般発表

### 1日目（8月4日 10:20~12:00）

※1件あたりの時間：20分（発表15分、質疑応答4分、準備・交替1分）

#### ◇第1会場（10:20~12:00）

111 10:20 香川貴志（京都教育大/同附属桃山小）：NZクライストチャーチにおける防災・減災教育の実践と課題

112 10:40 阿部信也（上越教育大・院）：学校教育における防災学習の構造に関する小中学校教員の認識実態—防災教育の自校化に向けて—

113 11:00 森 康平（兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科・院）・山縣耕太郎（上越教育大）・塚本章宏（徳島大）・井若和久（徳島大）：児童の津波避難行動の課題を踏まえた津波防災学習の開発

114 11:20 三橋浩志（文部科学省）：災害記録と防災教育の関係 —「厄災の記憶」を巡る葛藤—

#### ◇第2会場

121 10:20 永田成文（三重大）：地域の世界文化遺産を通して人々の価値観を考える地理ESD授業

122 10:40 田部俊充（日本女子大）・永田成文（三重大）：世界遺産教材を活用した中学校世界地誌学習の開発と授業実践 —ニューヨーク「自由の女神」の場合—

123 11:00 河本大地（奈良教育大）：新学習指導要領に登場した「地域の在り方」をどう扱うか？—観光分野の大学生との実践経験をふまえた検討と提案—

124 11:20 椿 真智子（東京学芸大）：地域資源としての崖線への認識と学習課題

#### ◇第3会場

131 10:20 田中岳人（同志社女子中高）：高等学校地理における気候学習の変遷 —ケッペンの気候区分に着目して—

132 10:40 原田悠紀（東京学芸大・学）・青木 久（東京学芸大）：海岸域に形成される微地形タフオニとハニカム構造の形成条件に関する一考察

133 11:00 沈 光澤（晋州教育大）・金 玟辰（北海道教育大）：韓国の社会科教科書に反映された地域認識とその記述の変化

134 11:20 加賀美雅弘（東京学芸大）：オーストリア国境地域におけるロマ共生の動向

135 11:40 太田洋希（東京学芸大・院）：高校生・大学生のインドに対する認識

## 2日目(8月5日 9:40~12:00)

※1件あたりの時間:20分(発表15分, 質疑応答4分, 準備・交替1分)

### ◇第1会場

- 211 9:40 山内洋美(宮城県塩釜高):高校地理の授業で「誰も置き去りにしない」を考える
- 212 10:00 牛垣雄矢(東京学芸大):『君たちはどう生きるか』を手がかりとした地理学習による「つながり」の認識
- 213 10:20 遠竹ゆき菜(福岡市立筥松小)・深瀬浩三(鹿児島大):市場縮小期における鹿児島川辺仏壇産地の対応
- 214 10:40 金田啓珠(山形県立長井高):生徒の思考に寄り添った高校地理の授業づくりー世界史教員とのコラボレーションを通してー
- 215 11:00 杉山 伸一(大阪学院大):千里ニュータウン近隣センターの再生に向けてー地域創生実習フィールドワーク授業の取り組みを中心にー
- 216 11:20 奥野一生(名古屋商科大学・非):アニメによる地域振興・商店街振興とアニメツーリズム
- 217 11:40 宮内俊輔(兵庫教育大・院):ダブル・ループの探究による比較地誌学習の改善

### ◇第2会場

- 221 9:40 池 俊介(早稲田大):コンピテンシー重視の地理教育の課題ーポルトガルを事例にー
- 222 10:00 Batgerel Batdorj(愛知教育大・院):モンゴルの地理教育における野外調査単元の開発(2)ーモンゴルの野外調査の三領域ー
- 223 10:20 國原幸一郎(名古屋学院大):英米の地理教科書等からみた地理情報の活用
- 224 10:40 松下直樹(愛光中・高):中学校社会科地理的分野における「質問づくり」の試み
- 225 11:00 須藤修平(頌栄女子学院中高):青森市におけるカシス生産の展開
- 226 11:20 阪上弘彬(兵庫教育大)・川端光昭(岐阜工業高専):高等専門学校における地理と土木が連携した授業実践ー持続可能な街づくりの単元開発ー
- 227 11:40 伊藤智樹(早稲田大・院):新潟県佐渡市宿根木における町並み保存の現状と課題

### ◇第3会場

- 231 9:40 澤 達大(京都文教大):中等教育における今後の観光教育に関する考察
- 232 10:00 澤 達大(京都文教大)・飯田隆志(宇治市立菟道第二小):フィールドワークで学ぶ地域の観光ー「宇治学」6年の実践報告ー
- 233 10:20 寺本 潔(玉川大):沖縄観光の強み・弱みをハワイ州との比較で学ぶ出前授業ー那覇市小6児童が思考したSWOT分析をもとにー
- 234 10:40 中山正則(埼玉県越谷市立宮本小):新学習指導要領の全面实施に向けてー小学校地理教育の課題ー
- 235 11:00 湯田ミノリ(福岡女子大):フィンランドの小学校における新カリキュラムと地理教育
- 236 11:20 菅野友佳(仙台市立台原小):オーストラリア連邦ニューサウスウェールズ州地理カリキュラム2015年版にみられる地理的概念の関わりー小学校社会科第3学年の単元開発による例証ー
- 237 11:40 大矢幸久(学習院初等科):第1学年生活科の学校探検における地図活用に関する研究ー「しょとうかあんないツアーにでかけよう」の実践を通してー

## ●研究グループ会合(オープン参加可) 8月5日13:00 第1会場

「入門期の地図活用研究グループ」(代表:吉田和義・創価大)